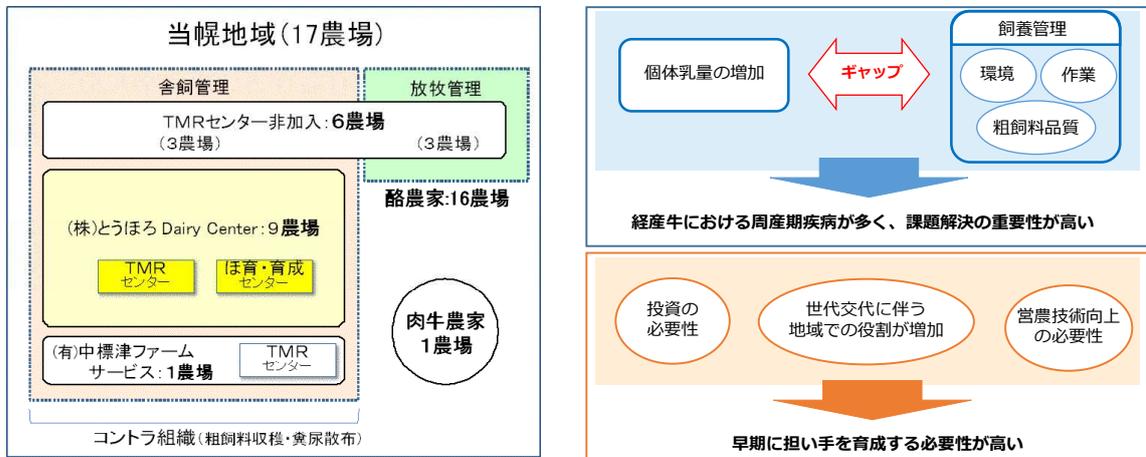


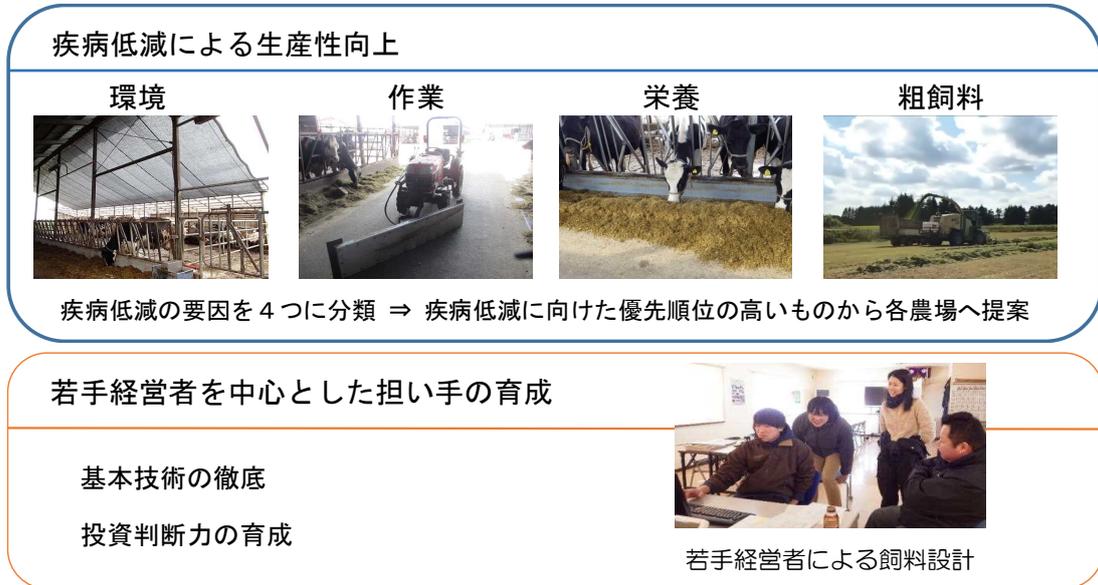
# 健康な牛づくりで健全な酪農経営

(中標津町当幌地域)

## 1 課題の背景



## 2 活動の経過



## 3 活動の成果

具体的推進事項	目標事項	目標	実績	到達度
所得額の維持	H 27 年比 100 % 以上	100 %	112 %	112 %
疾病低減による生産性向上	個別目標達成農家数	11 戸	6 戸	55 %
若手経営者を中心とした担い手の育成	乳牛飼養管理の改善	7 人	8 人	114 %

### (1) 疾病低減による生産性向上

**暑熱対策・分娩施設の安楽性向上による疾病低減  
(農場)**



ほ育舎から分娩施設に改造

乾乳舎の暑熱対策、旧ほ育牛舎の活用を提案  
使わなくなったほ育牛舎を分娩施設として活用



周産期に集中していたトラブルが減少  
除籍率が25% (H27) から15% (R2) に低下



繁殖管理を強化し初妊牛、経産牛の増加  
初妊牛販売頭数・所得の増加

**除籍率低減のためのTMRセンターの取組**

**粗飼料生産体制を見直すための技術支援**



町内優良事例の視察



飼料用とうもろこしの  
熟期確認

**牧草のサイレージ調製**

- ・嗜好性、栄養価の高い粗飼料確保のための  
収穫順序の見直し
- ・収穫時の刈高調整、バンカーシートの変更による  
廃棄ロス減少

**サイレージ用とうもろこしの栽培方法**

- ・栽植本数、施肥内容および除草剤の見直しにより  
TDN収量向上 (H28年対比67%増)

**ほ育・育成牛の疾病低減に向けた技術支援**



構成員による預託牛  
の発育確認



視察による換気技術  
の習得

構成員：預託前の飼養管理技術の統一  
育成センター飼養管理改善



ほ育期の事故率が4.3%から0.9%まで減少



発育が良くなり初回分娩月令が1.6ヵ月短縮  
初産牛の年間乳量がH27年からR2年で815kg増加

**(2) 若手経営者を中心とした担い手の育成**

**基本の徹底**

現地研修会や学習会の開催。  
草地管理やサイレージ品質の見  
極め方、肢蹄病対策手法の習得。



**TMRセンター全体会議での提案**

毎週飼料設計を行い、エサの品質向上およびコスト  
削減の手法を習得。購入飼料や自給飼料の改善につ  
いて提案を行えるようになった。

**投資判断力の育成**

規模拡大に向けた投資準備として、①投資のタイミ  
ング、②計画性、③牛舎設計の基礎知識習得を支援。



地域内の複数の農場が規模拡大への投資を実現。



地域内で先行投資した農家と投資を考えている農家  
が気軽に情報交換できる環境ができた。

**(3) 地域への波及**

農業者や関係機関を対象とした「酪農セミナー(北根室地  
区農業改良協議会主催)」および技術情報誌「デーリィマン」  
で成果のあった活動事例を紹介。



酪農セミナーでの事例紹介

**4 今後の活動 \*\*\*\*\***

作業委託システムの活用により発生する新たな諸課題の解決を図る。